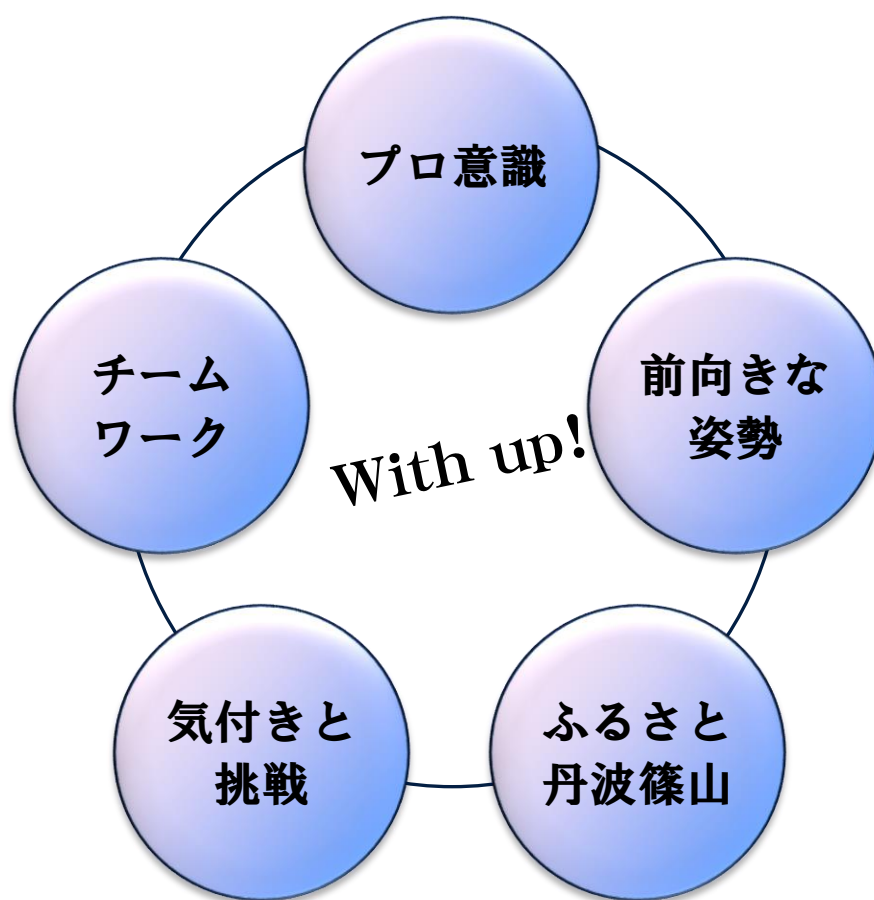


令和元年度



職員研修概要



丹波篠山市 企画総務部総務課

— 目 次 —

1. はじめに	1
2. 職員研修体系	2
3. 内部研修計画	4
○OJT	
○階層別研修	
○特別研修	
○自主研修について	
4. 派遣研修計画	6
○兵庫県自治研修所	
○丹波公務能率推進協議会	
○兵庫県市町振興課実務担当者研修	
○全国地域リーダー養成塾(フォローアップ研修)	
○丹波の森大学、篠山市商工会主催研修、篠山イノベーターズスクール	
5. 平成30年度内部研修の記録	9
6. 平成30年度派遣研修の記録	13
7. 平成30年度職場学習会の記録	17
8. 平成30年度自主研修の記録	18
9. 平成30年度職場接遇研修の記録	19
10. 平成30年度人権同和研究大会実績	20

〇はじめに

人材育成基本方針では、地方分権の到来や社会情勢の急激な変化、また総合計画・再生計画の実現や市民との協働によるまちづくりの推進など、様々な課題に対応するために求められる5つの職員像を設定しています。

- ① 笑顔とあいさつを忘れず、プロ意識を持って対応ができる職員
- ② チームワークを大切にする職員
- ③ 困難な仕事にも前を向いて取り組む職員
- ④ 気づきを大切にし、新たな課題に挑戦する職員
- ⑤ 丹波篠山を愛し、みんなの暮らしのために行動する職員

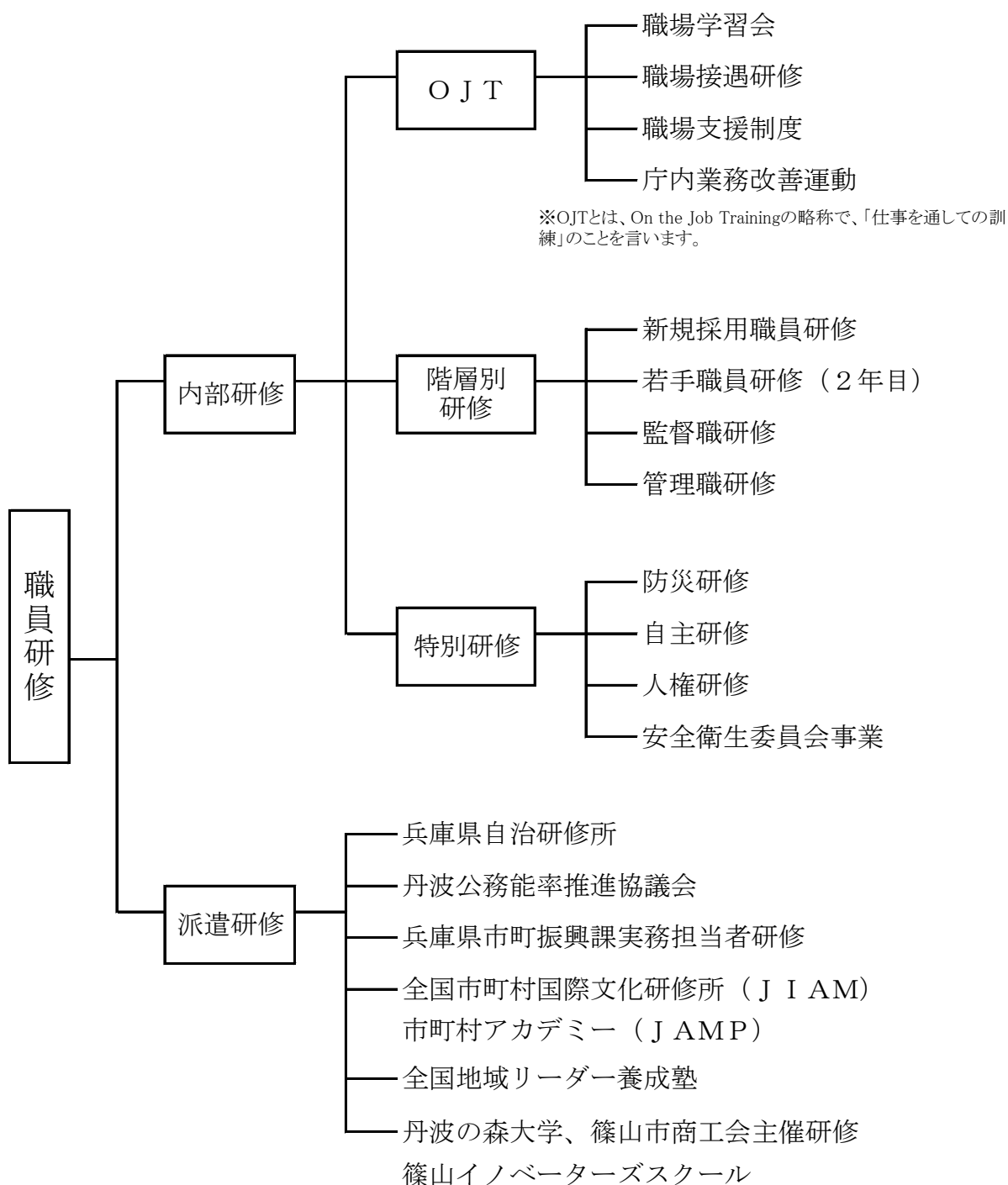
この職員像を人材育成の指標として、「人を生かす人事制度」「人が伸びる研修制度」「人が育つ職場環境づくり」を進めることにより、人材育成の目的である「魅力あるまちづくりの推進」「市民サービスの向上」の実現をめざします。

また、平成21年の「農都宣言」や、平成27年の「日本遺産」「ユネスコ創造都市ネットワーク」選定等を契機として、多くのシンボル事業を推進しており、職員の意識や専門性、実行力の向上が求められています。

加えて、令和元年5月には「丹波篠山市」へと名称が変わり、今まで以上に次代を展望できる広い視野が必要です。

そのためには、組織全体における人材育成の視点や、自らが主体的に学ぼうとする姿勢が大切であり、職員一人ひとりが能力開発、資質向上に意欲的に取り組める内部研修や派遣研修を実施します。

◇職員研修体系



◆内部研修の目的

篠山市のビジョンや目的の達成のために、職員として求められる役割を自覚した上で、階層別に必要とされる能力の習得、職場OJTによる自学の推進により、組織力の向上をめざす。

◆派遣研修の目的

職員の自主性を尊重しながら、新しい行政課題への対応力を身に付け、専門的知識・技能等のスキルアップをめざして各種研修機関へ派遣し、資質の向上を図る。

◇ 階層別職員研修体系 ◇

年次(年齢目安)		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	(30歳)	(37歳)	(48歳)				
階級		主事					主査		係長	課長補佐	副課長・課長	次長・部長	
内部研修	OJT	職場研修制度(職場学習会《人権》&接遇研修)											
		職場支援制度											
		庁内業務改善運動											
	階層別研修	新規採用											
		e-learning	農力発揮										
		篠山市・人権同和研究大会(採用10年以下)											
										係長昇任時		管理職昇任時	
	特別研修	人権研修、防災研修、健康研修(安全衛生委員会事業)、普通救命講習(安全衛生委員会事業)											
		自主研修					5~10年目は参加強化期間						
		おもてなしマイスター(希望者)											
派遣研修	JAMP・JIAM	※各研修ごとに関係担当職員・希望職員を派遣					5~10年目は参加強化期間						
	丹波の森公苑	丹波の森大学											
	篠山市商工会	新規学卒合同研修	おもてなしマイスター										
	兵庫県自治研修所		第1部				第2部		監督職		管理職		
		※特別研修は関係担当職員・希望職員を派遣											
	丹波公務能率推進協議会	新規採用											
		市民対応の基礎(CS)研修											
				プレゼンテーション研修									
		公文書作成能力を高める研修											
										職場のストレス対策研修			
								リスクマネジメント研修					
	業務改善研修												
	後輩の育成支援者研修												
市町振興課	※各研修ごとに関係担当職員・希望職員を派遣												
イノベーションラボ	篠山イノベーターズスクール												
地域リーダー養成塾	※平成30年度派遣者に対するフォローアップ研修												

◇内部研修計画

研修名		対 象	目 的	実施予定時期
O J T	職場学習会	全職員 学習リーダー	「丹波篠山市人権尊重のあたたかいまちづくり条例」を踏まえ、「職場の人権意識」をテーマに意見交換を行う。また、研修効果が高まるよう、学習リーダーを対象とした事前研修を実施する。	7月～12月
	職場接遇研修	全職員 接遇推進員	「接遇マニュアル」の基本に立ち返り、市民目線の窓口対応・サービスの向上をめざす、研修効果が高まるよう、接遇推進員を対象とした事前研修を実施する。	7月～12月
	職場支援制度	新規採用職員	新規採用職員に対して支援を行う職員を指定し、職務や職場環境に関することについて相談に乗り、助言を行うことで、新規採用職員が早く職場に慣れ、行政職員として活躍できることをめざす。	4月～3月
	庁内業務改善運動	全職員(実行 委員により組織 化)	「業務カイゼン！くろまめ運動」を継続する。“気づき”を促し、“小さな工夫”を提案・実践することで、市民サービスの向上や業務の効率化につなげる。実行委員会を立ち上げて推進する。	4月～3月
階 層 別 研 修	新規採用職員研修	新規採用職員	行政職員としての基礎知識を習得し、事務遂行能力の向上を図る。また、向上心を維持し、自己啓発力を高めるとともに、ふるさとの良さを知り、ふるさとに誇りを持って職務に取り組む姿勢を養う。	7月、11月
	若手職員研修 「農力発揮研修」	入庁2年目	“農都”の職員として、農業に対する理解を深めるとともに、実際の農作業体験により、農業や特産物に愛着を持って丹波篠山市をPRできる職員の育成をめざす。	6月、7月、10月
	監督職研修	監督職	丹波篠山市の「監督職」として、何が求められるのか。行政のあるべき姿を描け、部下の能力開発に寄与できる監督職育成をめざす。	8月
	管理職研修	管理職	丹波篠山市の「管理職」として、何が求められるのか。市施策の目標や使命を意識し、組織の総合力を引き出せる管理職育成をめざす。	8月
特 別 研 修	防災研修	監督職	想定を超える災害が発生する今日、常に「災害への備え」を意識しておく必要がある。新たに職員図上訓練に取り組むなど、職員の防災意識を一層高める。	9月
	自主研修	全職員	行政サービスの多様化を踏まえ、主体的に課題に挑み、自ら考え、調査し、行動する「自学」を促す研修を実施することで、これからの市行政を担う人材育成、職員の能力開発に資する。	5月～3月
	人権研修	全職員	「丹波篠山市人権尊重のあたたかいまちづくり条例」を踏まえ、あらゆる差別の解消と人権意識の確立に向けた理解を深める。兵庫県人権教育研究大会にも参加する。	7月、10月、12月
	安全衛生委員会事業 普通救命講習	全職員	応急手当の仕方やAEDの使い方を理解し体得することで、有事の際に冷静適切に処置し、市民の安全に貢献することをめざす。	7月
	健康・安全研修	全職員	自己の健康管理への自覚やストレスの対処方法等を習得することを通じて心身の健康を図り、安全で快適な職場づくりをめざす。	11月

○自主研修について

〔実施概要〕

募集定員：約20名（予算の範囲内）

補助額：1研修につき1人あたり40,000円を上限

補助対象：①全国の自治体における各業務先進地への視察
②民間企業団体・研究機関等の革新的な取組みの視察
③研修機関が実施する研修への参加

◇派遣研修計画

○兵庫県自治研修所

研修名		開催日	参加予定者	
一 般 研 修	若手職員研修（1泊2日）	587期	12月3～12月4日	主事級 1人
		588期	12月中旬	主事級 1人
		589期	1月14日～15日	主事級 1人
		590期	1月23日～24日	主事級 1人
		591期	2月3日～2月4日	主事級 2人
		592期	2月13日～2月14日	主事級 1人
	中堅職員研修（1泊3日）	359期	9月25日～9月27日	主事級 1人
		360期	10月2日～10月4日	主査級 1人
		361期	10月9日～10月11日	主事級 1人
		362期	10月28日～10月30日	主査級 1人
		363期	11月5日～11月7日	主査級 1人
	監督職研修（1泊3日）	568期	6月19日～6月21日	係長級 1人
		569期	7月2日～7月4日	係長級 2人
		570期	7月9日～7月11日	係長級 1人
		571期	7月9日～7月11日	係長級 2人
		572期	7月24日～7月26日	係長級 4人
	管理職研修（1泊2日）	365期	10月17日～10月18日	課長・副課長級 2人
		366期	10月24日～10月25日	課長・副課長級 2人
		367期	10月31日～11月1日	課長・副課長級 2人
	研修名		開催日	参加予定者
	特 別 研 修	公務員倫理指導者養成研修(20期)	7月中旬	1人
接遇指導者養成研修(95期)		6月17日～6月19日	1人	
行政法(基礎・争訟)研修(81期)		9月2日～9月3日、8月1日～8月2日	各1人	
民法研修(66期)		8月26日～8月28日	1人	
女性リーダー育成研修(6期)		8月上旬、9月上旬	1人	
政策づくりの基本(15期)		2月上旬	1人	
政策形成実践(8期)		8月上旬、9月上旬	1人	

○丹波公務能率推進協議会

研修名	開催日	目的
新規採用職員研修 【継続35期】 ※対象:新規採用職員	H31.4.5 (金)	社会人としての自覚・責任感を育成するとともに、地方公務員法等の基本的な法知識並びに自治体職員としての心構えについて理解を深めます。 <講師> (社)日本経営協会 専任講師 小室 邦夫
後輩の育成支援者研修 【継続3期】 ※対象:中堅職員	H31.4.23 (火)	人口減少社会を目前にし、「地方創生」の言葉が示すように、これからの自治体を担う職員をどう育成するかが問われています。人材育成は、組織全体で担うものであり、後輩の育成やコミュニケーションの取り方、先輩のあるべき姿について理解を深めるとともに、職場支援制度も視野に入れ、メンター(助言者)として必要な素地を養います。 <講師> (株)インソース 講師 澤田和美
職場のストレス対策研修 【継続8期】 ※対象:監督職(係長級)	R01.5.16 (木)	自治体が元気であるためには、役所が元気であること。役所が元気であるためには、担当部署が元気でなくてはなりません。その、キーマンとなるのは係長であり、係長となり初めて部下を持った職員が、部下のメンタルヘルスケアや職場づくりを考える機会とします。 <講師> (株)インソース 講師 重里恭子
市民対応の基礎(CS)研修 【継続15期】 ※対象:若手職員(3年目以下)	R01.6.13 (木)	ユーザー(顧客)は民間企業を選べるが、市民(住民)は自治体を選べない。行政サービスの厳しさ・難しさは、そこが基点となっています。市民満足度を高めるため、私たちはどうあるべきなのか、職員に求められる考え方や対応の基礎を学びます。 <講師> (社)日本経営協会 専任講師 武田 由利子
公文書作成能力向上研修 【継続3期】 ※対象:若手職員(2年目以下)	R01.7.5 (金)	決裁、議会答弁、計画書、説明原稿等、行政での文書作成業務は多岐にわたります。自分の伝えたいことを正しい日本語、適切な表現でまとめるためには、正しい公文書を作成するには、何が必要なのかを学びます。 <講師> (社)日本経営協会 専任講師 田原 圭子
プレゼンテーション研修 【継続15期】 ※対象:若手職員(5年目以下)	R01.8.9 (金)	今や行政も、自ら事業を企画・PRして成功に導かなければなりません。また、そのための実務だけではなく、面前で説明責任を果たす能力も求められています。人前で的確に話しをするためにはどうすればよいのか。住民説明会や庁内会議等で説明担当者となったとき、聴衆に伝えるためのコツや方法を学びます。 <講師> (社)日本経営協会 専任講師 田辺 ゆうこ
業務改善研修 【1期】 ※対象:全職員	R01.9.20 (金)	仕事は「ビルド」ばかりで「スクラップ」がなかなかできないが、職員は限られている。働き方改革やワークライフバランスが叫ばれる今日にあって、仕事量をどう圧縮していくか。業務改善の視点や方法を学びます。 <講師> (社)日本経営協会 専任講師 西村 健
リスクマネジメント研修 【継続11期】 ※対象:管理職	R01.10.24 (木)	防災活動や緊急対応だけが危機管理ではない。行政サービスが多様化するなか、組織は常に内外からの危機に対応しなければならない。管理監督職としての基本姿勢と心構えを学びます。 <講師> (社)日本経営協会 専任講師 森 健

○兵庫県市町振興課

研修名	開催予定	目的
財政担当職員研修	8月	財政担当として必要な基礎的知識を講義を通して習得する。
統一的な基準による地方公会計制度研修	10月	統一的な基準による地方公会計制度の内容及びその活用方法について、講義を通じて習得する。
地方債事務担当職員研修	4月24日	市町の地方債事務担当者として必要な基礎的知識を講義を通して習得する。
交付税担当職員研修	8月～9月	交付税担当として必要な基礎的知識を講義を通して習得する。
徴収事務担当職員研修	8月～9月	市町の税徴収事務に必要な知識、技能を講義、事例演習を通して習得する。
経営戦略策定研修	8月～9月	公営企業の計画的かつ合理的な経営を進める上での経営戦略の意義、作成方法及び活用方法を習得する。
地方公営企業会計担当職員研修	7月～8月	地方公営企業の会計担当として必要な基礎的知識を講義を通じて習得する。
栄典事務担当職員研修	7月上旬	市町の栄典事務担当者として必要な基礎的知識を講義を通して習得する。
人事労務担当管理監督職員研修	9～10月	市町の人事労務に携わる管理監督職・担当職員として必要な人事労務及び給与にかかわる知識等を講義を通して習得する。
給与事務担当職員研修	6月18日、19日	地方公務員の給与に関する基礎的知識、給与制度の実務能力を講義、演習を通して習得する。
財務担当職員研修	5月17日	財務担当者として必要な基礎的知識を講義を通して習得する。
法制執務担当職員研修	9～10月	法制執務について基礎的理解を深めるとともに、立案・改正演習を通して実務能力の向上を図る。
マイナンバー・住基担当者研修	6月10日	社会保障・税番号制度(マイナンバー)について、各市町において対応すべき事項等の知識を習得するとともに、住基ネットのセキュリティ対策等についての知識を習得する。
選挙事務担当職員研修	9月	選管職員として選挙の管理執行にあたり必要な基礎的知識を講義、演習を通して習得する。

○全国市町村国際文化研修所(JIAM)・市町村アカデミー(JAMP)

[受講申し込み方法]

年間募集定員:約15名

研修内容:各HP(全国市町村国際文化研修所<http://www.jiam.jp/index.html>、市町村アカデミー<http://www.jamp.gr.jp/index.html>)やパンフレットで確認

定員に達するまで、随時受講希望者を募集

○全国地域リーダー養成塾(フォローアップ研修のみ)

平成30年度に派遣した職員1人がフォローアップ研修に参加

○丹波の森大学、篠山市商工会主催研修、篠山イノベーターズスクール

それぞれ主催団体からの要請等にもとづき、希望する職員を派遣。商工会主催研修は、「市内新規学卒者合同研修」を実施。篠山イノベーターズスクールは、主事級の2人が参加。

◇平成30年度 内部研修の記録

若手職員“農力”発揮研修	
期日	平成30年6月～10月
場所	ハートピアセンター、グリーンファームささやま圃場
参加職員	入庁2年目職員対象（15人） 延べ参加者38人
目的	農都の職員として、篠山市の農業に対する理解を深めるとともに、実際の農作業体験により、農業や特産物に愛着を持って篠山市をPRできる職員の育成をめざす。
講師	グリーンファームささやま社員
内容	①篠山市の特産である「黒大豆」の栽培を体験する。 ②作業を通して職員相互のチームワーク醸成につなげる。
職場学習研修会	
期日	平成30年7月19日（木）
場所	本庁舎101・102会議室
参加職員	職場学習リーダー対象（各所属より選出） 参加者26人
目的	社会を見渡すと、女性軽視・女性蔑視の意識が一部に残っている。女性の立場で仕事を見つめ、女性の視点で職場を考えることをとおして、よりよい職場づくりにつなげていく。
講師	NPO法人SEAN理事長 小川真知子 氏
内容	講演「職場の人権意識を高めよう～男女ともに輝く職場づくり～」
市民救命士（AED・普通救命）講習会	
期日	平成30年7月20日（金）
場所	消防本部
参加職員	全職員対象 参加者16人
目的	市民の参加するイベントや集会等で、急病人や負傷者に遭遇した際の早期通報、早期応急手当の対応に資する。
講師	消防本部職員
内容	AEDを使用しての心肺蘇生法等の講習
職場接遇推進員研修会	
期日	平成30年8月23日（木）
場所	本庁舎2-301・302会議室
参加職員	職場接遇推進員対象（各所属より選出） 参加者60人
目的	つつい、負の先入観を持ってしいがちなクレーム対応だが、「原因の一端はこちらにある」といった市民目線の謙虚さが大切である。接遇マニュアルの基本に立ち返り、よりよい接遇・市民対応につなげる。
講師	総務課職員
内容	接Good！な対応でクレーム0（ゼロ）をめざそう

新規採用職員研修	
期日	前期：平成30年8月29日（水）、後期：12月25日（火）
場所	篠山市役所庁舎内
参加職員	新規採用職員対象（前期：15人、後期：18人）
目的	行政職員としての基礎知識を習得し、事務遂行能力の向上を図る。また、向上心を維持し、自己啓発力を高めるとともに、篠山市の良さを知り、ふるさとに誇りを持って職務に取り組む姿勢を養う。
講師	各担当職員
前期内容	①篠山市の概要 講師：総務課職員
	②IT活用と情報セキュリティ 講師：総務課職員
	③公務員としての心構え 講師：総務課職員
	④オリエンテーション～篠山城跡・丹波篠山デカンショ館～ 講師：文化財課職員
後期内容	①公職選挙と選挙事務 講師：選挙管理委員会職員
	②篠山市の政策・まちづくり 講師：総務課職員
	③篠山市の財政 講師：行政経営課職員
	④手話に親しむ 講師：地域福祉課職員
	⑤篠山市議会の仕組み 講師：議会事務局職員
	⑥公務員倫理と職員モラル 講師：総務課職員
RESAS活用研修会	
期日	平成30年10月22日（月）
場所	篠山市民センター2階 多目的ホール ほか
参加職員	全職員対象（各所属1人程度） 全体研修44人、活用研修18人
目的	産業構造や人口動態、人の流れなど、地域経済に関するさまざまなデータが確認できるシステム「RESAS」の活用方法を学び、地方創生をはじめとした政策立案や事業推進の一助とする。
講師	近畿経済産業局 地域経済分析システム普及活用支援調査員
内容	全体研修：「RESASを活用したデータ分析について」 活用研修：「実際にRESASを使ってみよう」
人権講演会	
期日	平成30年10月30日（火）
場所	篠山市民センター2階 多目的ホール
参加職員	全職員対象 参加者96人
目的	大きな人権課題になりつつある「認知症高齢者」を取り上げ。窓口等における人権に配慮した対応についての考え方・方法を学ぶ。（認知症サポーター養成講座としても位置付け）
講師	NPO東濃成年後見センター理事長 渡辺哲雄 氏
内容	講演：「認知症高齢者の人権に配慮したケアの方法について」

債権管理研修	
期日	平成30年10月31日(水)
場所	本庁舎2-301・302会議室
参加職員	私債権取扱担当者 参加者20人
目的	債権(未収金)の総額は8億円あまりに上る。健全な財政運営に資するため、法的手続きが多く想定される私債権に関し、法的解釈や回収事務の要点等の理解を深める。
内容	①未収金の状況 行政経営課職員
	②実績に結びつく債権回収のノウハウ 総務課法務専門員
人事評価能力向上研修	
期日	平成31年1月16日(水)、17日(木)
場所	本庁舎2-301・302会議室
参加職員	管理・監督職対象 参加者183人
目的	自己評価が基本になる能力評価は、客観的になりにくい傾向があることから、評価のポイントを再確認することで評価者の評価能力向上に資する。
講師	総務課職員
内容	①能力評価とは、②能力評価にあたって、③評価結果の活用
篠山イノベーターズスクール学習会	
期日	平成31年2月20日(水)
場所	本庁舎401、402会議室
参加職員	全職員対象(自由参加) 参加者23人
目的	「篠山イノベーターズスクール」で学んだ研修成果を職員に還元するとともに、地域イノベーションについて理解と視野を深める。
講師	神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ事務局
内容	①講演：篠山イノベーターズスクールの実績等について
	②報告：地域ビジネスプロデュース(税務課係長)
	③報告：強みを活かす農家経営(農都政策課主事)
	④報告：全国地域リーダー養成塾の成果等(創造都市課主査)
安全衛生セミナー	
期日	平成31年2月21日(木)
場所	篠山市民センター2階 多目的ホール
参加職員	全職員対象 参加者160人
目的	近年、こころの不調から不眠に陥る人が増えている。睡眠の重要性と心身の健康管理についての理解を深めることで、職員の健康増進及び職場環境の改善につなげる。
講師	香良病院 副院長 稲田貴士 氏
内容	講演「睡眠と心の健康」

くろまめカイゼングランプリ2018

期日	平成31年2月7日(木)
場所	たんば田園交響ホール
参加職員	全職員対象 135人
目的	平成30年度に取り組んだ庁内業務改善運動の成果を職員全体で共有するため、事例発表会を開催する。
内容	<p>【事例発表】</p> <p>① 拡げろ！電子通知の和（総務課）</p> <p>② 手続きの効率UP！待ち時間DOWN！～スッキリカイゼン～（地域コミュニティ課）</p> <p>③ 見て見て！かやのみっこ！（かやのみ幼稚園）</p> <p>④ 事務を軽減して教材研究・保育準備の時間を確保しよう（篠山市幼稚園・こども園教育会）</p> <p>⑤ 丹波篠山カイゼン自慢（商工観光課）</p> <p>【事例紹介】</p> <p>① カイゼン小ネタ集〔塵積編！〕（教育総務課）</p> <p>② ちょっと工夫しただけ！見た目すっきり管理しっかり、場所はつきり！（農都政策課＋農都環境課）</p> <p>※グランプリに輝いた「丹波篠山カイゼン自慢」は、愛知県豊橋市で開催された「第13回全国都市改善改革実践事例発表会」（H31.2.22）に出場した。</p>

◇平成30年度 派遣研修の記録

○兵庫県自治研修所

研修名		開催日	人数	受講者
一般 研 修	市町職員第1部研修 (544～546期) 若手職員に必要なコミュニケーション力や課題解決力の向上を図るとともに、公務のプロとして職務に臨む姿勢を考え、市町職員としての自覚や心構え、	12月～1月 各3日間	7人	主事級
	市町職員第2部研修 (354～358期) 所属する組織における中堅職員としての役割・心構えに対する認識を深め、行政課題の解決に必要な能力及び対	10月～11月 各3日間	6人	主査級
	監督職研修 (562～566期) 少数精鋭時代における監督職のあり方について考えるとともに、監督職としての役割・責任に対する認識を深め、仕事のマネジメント及び人材育成にか	6月～7月 各3日間	10人	係長級
	管理職(課長級)研修 (362～363期) 管理職としての役割・責任に対する認識を深め、組織のリーダーとして職場を管理運営する能力の向上を図る。	10月 各2日間	4人	課長・副課長級
研修名		開催日	人数	受講者
特別 研 修	接遇指導者養成研修	6/13～6/15	1人	係長級
	民法研修	8/21～8/23	2人	係長級、主査級
	女性リーダー育成研修	8/3、9/5	1人	主事級
	行政法(基礎)研修	8/28～8/29	1人	主事級
	政策形成実践研修	8月～9月	1人	主事級
	協働による政策づくり研修	12/6～12/7	1人	主事級

○丹波公務能率推進協議会

研修名	開催日	人数	受講者
新規採用職員研修 講師:(社)日本経営協会 小室邦夫 氏ほか 社会人としての自覚・責任感を育成するとともに、地方公務員法等の基本的な法知識並びに自治体職員としての心構えについて理解を深める。	4/6	6人	新規採用職員
後輩の育成支援者研修 (中堅職員) 講師:(株)インソース 佐藤浩司 氏 人口減少社会を目前にし、「地方創生」の言葉が示すように、これからの自治体を担う職員をどう育成するかが問われている。人材育成は、組織全体で担うものである。後輩の育成やコミュニケーションの取り方、先輩のあるべき姿について理解を深めるとともに、職場支援制度も視野に	4/23	13人	主査、主事級
職場のストレス対策研修 (監督職(係長級職員)) 講師:(株)インソース 植山哲文 氏 自治体が元気であるためには、役所が元気であること。役所が元気であるためには、担当部署が元気でなくてはならない。その、キーマンとなるのは係長であり、係長となり初めて部下を持った職員が、部下のメンタルヘルスケアや職場づくりを考える	5/16	14人	係長級
市民対応の基礎研修(CS研修) (若手職員(3年目以下)) 講師:(社)日本経営協会 武田由利子 氏 ユーザー(顧客)は民間企業を選べるが、市民(住民)は自治体を選べない。行政サービスの厳しさ・難しさは、そこが基点となっている。市民満足度(Customer Satisfaction)を高めるため、私たちはどうあるべきなのか。職員に求められる考え方や対応の	6/18	16人	主事級
公文書作成能力向上研修 (2年目以下若手職員) 講師:(社)日本経営協会 田原 圭子 氏 決裁、議会答弁、計画書、説明原稿等、行政での文書作成業務は多岐にわたる。自分の伝えたいことを正しい日本語、適切な表現でまとめるためには、正しい公文書を作成するためには何が	7/27	14人	主事級

研修名	開催日	人数	受講者
<p>プレゼンテーション研修</p> <p>(原則5年目以下若手職員)</p> <p>講師:(社)日本経営協会 田辺 ゆうこ 氏</p> <p>今や行政も、自ら事業を企画・PRして成功に導かなくてはならない。また、そのための実務だけではなく、面前で説明責任を果たす能力も求められている。人前での確に話をするためにはどうすればよいのか。住民説明会や庁内会議等で説明担当者として</p>	9/11	15人	主査級
<p>働き方改革研修</p> <p>(管理・監督職員)</p> <p>講師:(社)日本経営協会 森 健 氏</p> <p>(1部)防災活動や緊急対応だけが危機管理ではない。行政サービスが多様化するなか、組織は常に内外からの危機に対応しなければならない。管理監督職としての基本姿勢と心構えを学ぶ。 (2部)業務効率を高め、最大限の成果をあげるため、管理職として無理なく続けられる時間管理術を習得し、仕事の効率アップ</p>	10/1	15人	課長級、課長補佐級
<p>窓口担当者のための英会話講座</p> <p>(窓口担当職員)</p> <p>講師:NPO法人篠山国際理解センター 講師</p> <p>「英語ができなくても、このフレーズさえ覚えておけば最低限の案内ができる」を主眼に置き、庁内案内、道案内、電話応対等、</p>	11/19	11人	窓口担当職員

○全国市町村国際文化研修所・市町村アカデミー

研修名	研修場所	人数	受講者
市町村税徴収事務	市町村アカデミー	1人	主事
地方公営企業法の適用に向けた実務	市町村国際文化研修所	1人	主査
自治体職員のためのデータ分析の基本	市町村国際文化研修所	1人	係長
外国人が安心して医療を受けられるための環境整備	市町村国際文化研修所	1人	主事
災害発生時のマネジメント	市町村国際文化研修所	1人	主査

○兵庫県市町振興課、兵庫県市町村振興協会等

研修名	開催日	人数	受講者	
専門実務研修	選挙事務担当職員研修	5/21	1人	係長
	給与事務担当職員研修	6/27～6/28	1人	主事
	パソコン研修	7月～9月	4人	係長、主査等
	栄典事務担当職員研修	7/24	3人	主査等
	財政担当職員研修	7/27	1人	主査
	交付税担当職員研修	8/23	2人	主査等
	地方公営企業会計担当者研修	8/28～8/30	1人	係長
	徴収事務担当職員研修	8/29～8/30	2人	係長
	人事・労務担当職員研修	10/19	1人	課長補佐
	法制執務担当職員研修	10/23	1人	係長
全国地域リーダー養成塾	5月～2月	1人	主査	

○その他

研修名	開催日	人数	受講者
篠山市商工会主催 ・新卒就職者合同研修会 ・フォローアップ研修会	4/3～4/5 10/25	6人 (12人)	主事等(新規採用職員)
篠山市商工会主催 ・パワーハラスメント対策支援セミナー	10/11	3人	課長等
(財)丹波の森協会主催 ・丹波の森大学(普通科コース)	7月～12月	2人	係長1人、主事1人
神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ主催 ・篠山イノベーターズスクール	5月～1月	2人	係長1人、主事1人

◇平成30年度 職場学習会(テーマ:「男女ともに輝く職場づくり」)の記録

No.	所 属	実施日	参加者	学習内容(主な意見等)
1	政策部(創造都市課、行政経営課、秘書課)	10/25	17	ジェンダー・バイアスについての理解を深めた
2	総務課	10/2	10	お互いの立場を理解すること、コミュニケーションも大切
3	管財契約課	1/23	11	女性に対する偏った考え方や無意識の偏見がある
4	税務課	9/27	11	偏見や思い込みがまだまだ残っている
5	市民課、地域コミュニティ課	11/7	19	無意識のうちに自分の思い込みや偏見があることに気づかされた
6	市民協働課、市民安全課、人権推進課	12/12	15	お互いを思いやり、助け合って仕事をするのが大切
7	福祉総務課、地域福祉課	10/23	24	日ごろの業務のなかにも決めつけや思い込みがあるかもしれない
8	医療保険課、診療所	12/12	14	無意識の偏見や思い込みがあることを再認識した
9	健康課	11/15	7	男女間での思い込みがあることに気付いた
10	農都政策課	9/28	8	自分のなかの固定観念で物事を判断していないかを振り返った
11	農都環境課、商工観光課	12/19	13	職業に関する無意識の偏見・思い込みがある
12	上下水道部(経営企画課、上下水道課、下水道課、あさぎり苑)	10/19	20	特定の職業に対して性別に関する先入観がある
13	消防本部	8/10 8/13	25	男女格差がないように意識をしても無意識な思い込みがある
14	教育総務課、学事課、学校給食センター	9/11	11	従来からの慣例や思い込みで画一的な見方しかできていないことがある
15	たかしろ保育園、篠山幼稚園、八上幼稚園、岡野幼稚園、たまみず幼稚園	9/3	13	身近な職場での疑問に感じていることについて意見交換が行えた
16	城東保育園、かやのみ幼稚園、たき幼稚園	9/3	12	身近な職場での疑問に感じていることについて意見交換が行えた
17	味間認定こども園	8/28 8/29	58	性別役割意識が知らず知らずのうちにあり自分の思い込みに気づいた
18	今田保育園、城南幼稚園、古市幼稚園、今田幼稚園	8/30	12	男女の格差や女性の負担になっている実態がある

◇平成30年度 自主研修の記録

No.	参加者		研修場所	研修内容
	所属	役職		
1	選挙管理委員会 事務局	係長	大阪市(日本経営協会関西本部)	選挙管理事務の基本実務研修
2	消防本部 消防署	当務司令	東京都江東区(東京国際展示場)	東京国際消防防災展2018
3	保健福祉部 健康課	保健師	横浜市(パシフィコ横浜)	平成30年度 全国保健師交流集会プログラム
4	農都創造部 商工観光課	主査	篠山市(篠山市役所)	SNSツール活用研修(情報発信編、情報収集編)
5	総務部 総務課	課長補佐	京都市(京都テルサ)	JIAM研修「職場の笑顔と成果を増やす肯定型コミュニケーション」フォローアップ研修
6	保健福祉部 健康課	係長	姫路市(姫路獨協大学)	感覚統合療法入門講習会(基礎コース)
7	政策部 創造都市課	係長	東京都千代田区(アルカディア市ヶ谷)	全国地域リーダー養成塾修了者研修
8	総務部 管財契約課	係長	東京都渋谷区(日本経営協会)	講座「官民の境界確定をめぐる法律実務と紛争対応のあり方」
9	消防本部 消防署	消防士	亀岡市	講習「テクニカルロープレスキュートレーニング」
10	教育委員会 城南幼稚園	主任教諭	篠山市(城南幼稚園)	城南幼稚園保育研修会
11	議会事務局	主事	福岡市(なみきスクエア)	自治体職員のための講座「市民自治」in 福岡
12	農都創造部 農地政策課	係長	兵庫県内(JAたじま、夢前町ほか)	JAコントラクター協議会、篠山市認定農業者連絡協議会等合同視察研修

◇平成30年度 職場接遇研修の記録

No.	所 属	実施日	参加者	No.	所 属	実施日	参加者
1	議会事務局	1/15	3	29	上水道課	10/19	6
2	秘書課	10/24	4	30	下水道課	10/19	4
3	総務課①(2F)	10/2	4	31	あさぎり苑	10/19	4
4	総務課②(3F)	10/2	7	32	農業委員会事務局	10/11	3
5	管財契約課	1/23	11	33	消防本部	10/3	18
6	税務課(課税グループ)	1/23	10	34	消防署	10/4	17
7	税務課(収税グループ)	1/23	8	35	教育総務課	9/11	4
8	市民課	11/9	9	36	学事課	9/11	4
9	城東支所、城東公民館	10/26	6	37	篠山東部学校給食センター	8/20	32
10	多紀支所	10/17	3	38	篠山西部学校給食センター	11/2	27
11	西紀支所	11/21	4	39	社会教育課	10/5	7
12	丹南支所、中央公民館	11/21	6	40	文化財課	10/5	3
13	今田支所	1/10	4	41	中央図書館、視聴覚ライブラリー	10/31	16
14	市民安全課	12/19	6	42	こども未来課	1/25	9
15	人権推進課	12/1	11	43	たかしろ保育園	10/10	9
16	市民衛生課、市営斎場	1/25	3	44	城東保育園	10/16	13
17	清掃センター	11/7	8	45	にしき保育園	10/5	9
18	福祉総務課	9/27	8	46	今田保育園	11/28	10
19	地域福祉課①	10/23	13	47	味間認定こども園	9/19	61
20	地域福祉課②(長寿福祉グループ)	10/23	10	48	八上幼稚園	8/29	2
21	医療保険課	10/30	7	49	たまみず幼稚園	9/3	3
22	健康課	11/15	8	50	岡野幼稚園	8/24	3
23	農都政策課	9/28	9	51	かやのみ幼稚園	10/16	2
24	農都環境課	12/19	7	52	たき幼稚園	8/29	5
25	商工観光課	12/19	6	53	西紀みなみ幼稚園	9/3	2
26	地域整備課	1/9	9	54	城南幼稚園	8/28	3
27	地域計画課	1/9	9	55	古市幼稚園	8/24	2
28	経営企画課	10/19	6	56	今田幼稚園	9/3	4

◇平成30年度 人権同和教育研究大会等 篠山市職員参加実績

研修名	開催日	参加人数
第65回兵庫県人権教育研究大会 丹波地区大会	平成30年7月28日	市長部局： 16人 教育委員会部局： 25人
大会テーマ「差別の現実から深く学び、生活を高め、 未来を保障する教育を確立しよう」		
研修名	開催日	参加人数
第65回兵庫県人権教育研究大会 中央大会	平成30年9月30日 (荒天により中止)	市長部局： 一人 教育委員会部局： 一人
大会テーマ「差別の現実から深く学び、生活を高め、 未来を保障する教育を確立しよう」		
研修名	開催日	参加人数
第20回篠山市人権同和教育研究大会	平成30年12月1日	市長部局： 40人 教育委員会部局： 21人
大会テーマ「人権意識の高い地域づくり」 ～人権が尊重されるまちをつくろう～		
		※対象：若手職員 (採用10年以内)